

生活空間計測スタジオオープン

～人間の使いやすさを考慮した製品開発支援～

使いやすさを考慮した製品開発には、製品を使用する環境下で人間の特性を計測することが必要です。お客さまのご要望を受け、人間の動作・生理・形状計測などの被験者実験をすることができる「生活空間計測スタジオ」を平成27年11月2日(月)、墨田支所・生活技術開発セクターにオープンします。

生活空間で人間の特性を測定

生活空間計測スタジオでは、生活空間において、製品使用時の人間の動きや特性を計測し、客観的なデータ収集と解析を行うことができます。

【設備】 人体3Dデジタイザ、モーションスーツ、トレッドミル、呼吸代謝装置、筋電計、心拍計、血流計、シート型圧力測定器、非接触視線計測装置

【技術分野】 生体計測、人間工学、生理情報、スポーツ工学

【対象分野】 スポーツ、福祉、高齢者、ヘルスケア、ウェアラブル、コンテンツ、生活用品

幅広い製品の開発・評価を支援

生活空間設計スタジオの設備を活用し、幅広い製品の開発や評価の支援を想定しています。生活関連製品、スポーツ用品、福祉製品などの使用感の評価にご活用ください。

- 【活用例】
- 歩行しやすいシューズの開発
 - 睡眠環境向上のためのマットレスの開発
 - 作業時の動作負荷の計測
 - ゲームソフト向け人体動作データの作成
 - 車いすの操作性の向上
 - 運動用具の人体への効果検証 など



人体3Dデジタイザ
人の全身の形状と表面の質感を同時にデジタルデータ化



モーションスーツ
慣性センサー式でカメラを使わずにリアルタイムで動作を分析



トレッドミル
呼吸代謝装置などと連動して使用し、運動負荷時の人への影響を計測

生活空間計測スタジオ オープン記念セミナー「ものづくりに活かす人間計測」

生活空間計測スタジオのオープンに先立ち、大阪大学大学院の門田 浩二氏に製品開発に欠かせない人間の動作特性や知覚特性について認知心理学や神経科学の観点からご講演いただきます。また、新規に導入した機器についても紹介します。

開催日時 平成27年10月29日(木)
13:30～17:00

会場 墨田支所・生活技術開発セクター
受講料 無料
定員 50名

申込方法 ホームページからお申し込みいただくか、申込書をFAXまたは直接持参してお申し込みください。

申込締切 平成27年10月23日(金)

プログラム

◆「どう感じ、どう動くべきか?～身体の動きと感覚からみた動作の巧みさ～」

大阪大学大学院 医学科研究科 門田 浩二 氏

◆「人の行動計測データを活用した商品・サービスの改善」

大日本印刷株式会社 包装事業部企画本部
リサーチ&プランニング戦略室ヒューマンリサーチチーム
兼 株式会社DNPフィールドアイ 安田 尚司 氏

◆生活技術開発セクター見学